

中央エンジニアリング社長

いしだ ゆたか
石田 豊氏

さあ! 出番

IT'S YOUR TURN

ソフトウェアの三つの設計力を併せ持つのが中央エンジニアリングの強み。黎明期から航空宇宙に取り組み「H1」をはじめとする国産ロケットのエンジンや航空機の設計を手がける。

機械、電気・電子、



技術力を産機・車に展開

自身は総務・人事畑が長く、入社後は組織改革をけん引してきた。「社が培った技術力を産業機械、自動車などに展開し、顧客の思いを形にするには解析などの組織を増強し、連携することが課題」という。

顧客の設計に上流から関わるには、新たな試験測定機器も必要。「自社で設計・製作するなどワンストップのビジネスを目指す」。

大学生の時から地域のサッカーチームに所属し、現在も現役。ポジションはディフェンダーだが、会社では走攻守の先頭に立つ。

(縄岡正英)

83年(昭58)学習院大法卒。専門商社、電機設備販売会社を経て、02年中央エンジニアリング入社。08年エンジニアリング技術部長、19年取締役。新潟県出身、61歳。4月1日就任。(東京都千代田区麹町4の5の7)